

かさどろぼう

ウェッタシンハ作 いのくまようこ訳 徳間書店

うまれてはじめて まちへ でかけた キリ・ママおじさん。「なんてきれいで べんりなものだろう」と、かさをかってかえりました。しかし、かえりに「コーヒーをのんでいるうちに、かさがぬすまれてしまいました。おじさんはもういちどまちにでかけていき、またかさをかってきました。ところがこのかさもやりみちをしているあいだになくなってしまったのです。

なんど かってても、ぬすまれてしまいかさ。いったいだれが、なんのために…？

